

5. くらし

	タイトル	意見等
1	信号の最適制御などによる渋滞緩和について	信号の最適制御による渋滞緩和について、素人考えではありますが提言させていただきます。2024年10月8日投稿 県都徳島市と各地を結ぶ主要道路である各国道（11号・55号・192号）や県道徳島鴨島線（以下、県道30号）を走っていると、信号の先頭で発進しても2つ目または3つ目の信号でほぼ停車することになります。徳島市内中心部は信号の数が多いため仕方ないかもしれませんが、県道30号では脇道が少ない区間でも1km程度走った先で次の信号で停車することとなります。さらに国道192号と県道30号が交差する藍場町交差点では、南北の信号が見直され、時差で北行きと南行きが通行することになりましたが、信号が青になって発進するとすぐに、北行きでは整形外科前交差点の信号が、南行きでは銀行前の信号が赤となり、数台しか通行ができていません。これらの信号制御はわざと車両の流れを悪くしているようにも思われます。なぜ国道192号の東西通行中に前述の信号も東西を青にしないのか疑問です。 更に細かいことを言うと、徳島市バスの発車時刻は決まっているにもかかわらず、バスが発進するタイミングでホテル前の信号がほぼ赤となっています。たださえ遅れがちなバスの運行が、この信号のせいで出発したとたんに1?2分の遅れが生じています。 Nシステムや交通渋滞情報、また各車両のナビの位置情報データの活用、信号にカメラを設置するなどして、A Iで最適な信号制御が行えないでしょうか？ 停車してもわき道から1台も車が出て来ない交差点も多々あります。もう少し感应信号を増やせないでしょうか？ それから、県道30号の花畑踏切は信号にして一時停止を不要にできないでしょうか？他県では信号踏切は多々あります。一時停止を取りやめるだけでも渋滞緩和になると思います。J R四国は他の鉄道より踏切の遮断時間が長いように思いますし、駅で停車するのにその先の踏切を止めるのもやめてほしい。J Rからは特急列車の通過に合わせているとの言い訳が聞こえてきそうですが、牟岐線は1日上下各1本しか走らないのに多数の普通列車で駅停車の先の踏切で止められます。今の時代にこれ位の制御もできないかと思議に思います。J R四国に申し入れして是非とも改善していただきたいと思います。 何か1つでも渋滞緩和につながる施策にならないものかと思ひ提言させていただきます。
2	捕獲、または飼い主持ち込みや迷い犬などの掲載期間の延長について	野犬や猫、迷い犬などは、捕獲後や保護された後に掲載し、飼い主が検索するのを待ためや、これから里親になってくれる引き取り手を探すためには、最低でも一週間、できれば2週間ほどの期間が必要なのは当然のことだと思います。野犬を捕獲するのは、殺処分したいためでしょうか。人間の都合と勝手に野犬としていきることを余儀なくされた犬たちには、生きる権利はないのでしょうか。どうか、税金はそのような命をなんとか助けるため、生かすために使ってください。他県では、生かすための取り組みがなされています。掲載がたった3日で何ができるでしょう。どうか、人にも動物にも優しい行政でありますように願います。改善を宜しくお願い致します。
3	高齢者の免許について	県内外問わず、高齢者の運転についてはかなり取り上げられています。踏みまみがいい、逆走など… 余所事と思っていましたが、私も目を疑う運転を自分が目にしたことにより、よりいっそう強化してほしいと思ひ投稿させて頂いた次第です。 某銀行の狭い駐車場にて、バックミラーはおろか、目視さえもせずに車をバックさせる高齢者。ゆっくりではありましたが…すごくヒヤヒヤしました。 進入禁止道路を平気で逆走する車も。 はたまた近所の人は、狭い道路を人がいるにも関わらずスピード上げて走り抜ける…など。 もちろん高齢者に限ったことではないですが… 制限速度以下で走る車も多々。。 高齢者には別に講習もあるといいますが、これでよく通ったなあ…という運転があまりに多くて怖いです。 最近も高齢者の方が起こした死亡事故…ありましたよね… 時間と手間はとるかもしれませんが、高齢者の実技講習をどんどん取り入れていくなど、口頭だけではない講習をお願いしたいです。また、事業など特例を除き、何歳までとするなどの検討もそろそろ必要ではないでしょうか？運転をやめさせたいご家族なんかも、おられると思います。争わずに自主返納を進めやすくなるかもしれません…ぜひご検討お願いします。 ※なお、この件での確認等の電話連絡は不要です。投稿を掲載して頂き、ぜひ県内のワースト記録、脱却していつもらえるようお願いします。
4	交通マナー	以前に何度か県警本部に依頼投稿させて頂きましたが何ら動きがありません。いまま現状は変わりません。 その投稿は、 1. 交差点での右左折時の指示器をだすタイミングです。右左折直前だったり右左折しながらのドライバーが多くいます。ひどい時はださない方もいます。全て道交法違反です。 2. また、車線変更時も早めに指示器をだすように道交法で定められていますが、ださない方があまりにも多くいます。 3. あと駐停車時や駐停車時からの発進時に指示器をださない。 以上、ラジオ番組内で四国放送アナウンサーも言及しましたが、後続車として非常に危険です。前述の通り違反なのですが警察は摘発も指導もしていません。基本的に県民ドライバーの意識レベルの低さなのでしょうが、それを指導しない県にも問題があります。上記のことは全て事故にもつながります。県民ドライバーのマナー向上として適切な指示器の使用もアピールして頂きたい思います。

5. くらし

	タイトル	意見等
5	交通事故防止について	人口10万人当たり交通事故死亡者数が、全国トップを継続しています。 事故防止には信号機の設置、交通標識の増量が必要だと思います。 徳島県の信号機数は全国44位です（隣県の香川は33位）。 これは人口順位と同様ですが、道路距離は35位（香川45位）、平均交通量は37位（香川18位）という統計があります。 計測年度に差異はありますが、信号機がやや少ないのは県内を走行していても誰もが分かると思います。 交通マナーを良くすることは大事ですが、それだけでは事故は防げません。 また徳島ナンバーの車両が徳島県外で多く事故を起こしているとのニュースもありません。 つまり徳島県民の運転マナーを事故の原因にするのには限界があり、数年前から県として人のせいになっているだけのように感じます。 交通事故防止に努めるべきなのは徳島県でもあり、その為にも各所に信号機を設置することは大きな抑止力になると思います。 信号機や交通標識があれば防げた事故は多くあるのが現実でしょう。